

市長の ふれあい訪問

●今回の訪問先●

新郷フラダンスクラブ

平成7年5月から10回にわたり新郷公民館で開催された「フラダンス教室」に参加したかたがたが、教室終了後同好会を発足。フラダンスを楽しみながら、健康の維持増進、会員相互の親睦を兼ね活動している「新郷フラダンスクラブ」を岡村市長が訪問。活動内容などについて聞きました。



市長 みなさんこんにちは。いよいよ6月を迎えクールビズの季節となりました。これから暑い日が続きますが、しのぎやすい服装で、クーラーの使用をできるだけ抑えて、環境負荷を下げずに過ごしていただければと思います。さて、今月のふれあい訪問は、新郷フラダンスクラブのみなさんです。どうぞよろしくお願いいたします。始めに会長の細川さんにお聞きしますが、このクラブはいつごろできたのですか。

細川 平成7年に新郷公民館で開催されたフラダンス教室の参加者が中心となり、平成8年にクラブとして発足しました。

村石 発足当初は、30人いましたが、現在は20人で活動しています。

市長 練習はいつ行っているのですか。

奈良 毎週水曜日に、新郷公民館体育ホールで午前11時から12時半まで行っており、毎回ほぼ全員が参加しています。



市長 どのくらいの年齢の方が多いのですか。

片岡 60歳代から70歳代にかけての人が大半で、80歳代の人もいます。

市長 プロのレッスンを受けている方に、指導を受けていると聞いていますが。

吉田 そうなんです。メンバーの中にプロのレッスンを受けている方がいて、ご指導いただいています。

市長 フラダンスの動きひとつひとつには、すべてに意味があるのですよね。

細川 手話とよく言われます。風や雲などを手の動きで表現したり、ひとつひとつの動きに意味があります。

奈良 その意味を理解しながら踊ります。

市長 発表などはどこで行うのですか。

片岡 公民館の文化祭や老人ホームへ慰問に行ったりしています。

吉田 慰問にいくと、お年寄りには座ったまま手で踊りのまねをしたりしてすごく喜んでくれます。

市長 健康にも役立つのではないですか。

高橋 最初は足がすぐくつらかったのですが、だんだんと鍛えられて丈夫になりました。クラブに来て、みんなと一緒に踊ると気持ちも健康になります。

市長 フラダンスの楽しみは何ですか。

吉田 普段の生活の中では着ることがない衣装を身につけることで、精神的にもすごく若返ります。みんなとのクラブ外での交流も楽しみのひとつです。

市長 フラダンスの衣装ですが、みなさん何着くらい持っているのですか。

村石 2年ごとに作るので7、8着くらいでしょうか。衣装は、踊る曲によって変えています。

市長 レパートリーは、何曲くらいあるのですか。

片岡 すぐに踊れるのは7曲くらいです。

細川 練習では、新しい曲を積極的に取り入れていきます。もう20曲くらいになりました。

市長 こういったサークルが広まっていくというのはすごくいいことですね。高齢化社会が進んでいく中で大切なのは、まず健康です。みなさんは、あまりお医者さんにはかからないのではないですか。

細川 そうですね。みんなすごく健康で元気に活動しています。これからも会員を増やして、もっともっと元気で、体が動かなくなるまで踊り続けたいと思っています。

市長 どうぞこれからも、若さと美貌を保って頑張ってください。今日はどうもありがとうございました。

